

2021年8月3日

報道関係者各位


 大東建託パートナーズ

「おとり広告」撲滅に向けた物件情報掲載の仕組みを導入

LIFULL HOME'Sと連携、不動産広告の信頼性向上を図る

大東建託グループの大東建託パートナーズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:佐藤功次)は、8月3日より、不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」を運営する株式会社LIFULL(ライフル)(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井上高志 以下LIFULL)と共同で、大東建託パートナーズの管理建物のうち募集が終了した物件の情報を「LIFULL HOME'S」上で自動的に非掲載にする仕組みを導入しました。

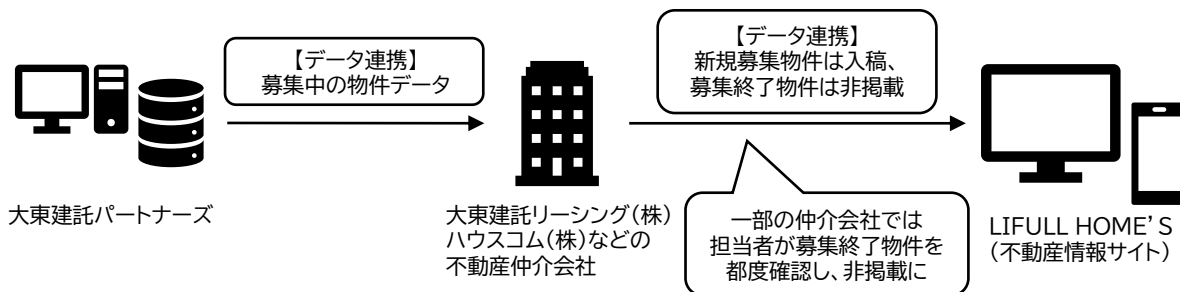
この仕組みは、販売や契約ができない物件の情報を掲載する、いわゆる「おとり広告」の対策として導入するもので、大手不動産管理会社と大手不動産情報サイトが連携するのは初めての取り組みです。この仕組みを導入することで、お部屋探しをするお客様に対する物件情報の信頼性向上に努めていきます。

■ おとり広告とは

不動産情報サイトなどにおいて、実際に募集は終了し取引できない物件にも関わらず、あたかも募集しているかのような情報が掲載されている広告等を指します。お部屋探しをするお客様の信頼低下につながることから、行政機関等からは「おとり広告」を禁止する注意喚起もされており、不動産業界内でも「おとり広告」撲滅に向けた取り組みが続いています。

■ 今回導入する仕組み

【従来の大東建託パートナーズ管理建物の募集情報掲載の流れ】



【従来の流れに加えて今回導入する仕組み】



「LIFULL HOME'S」に掲載される物件情報は、大東建託パートナーズの管理建物の情報を不動産仲介会社のデータと連携し、仲介会社を通じて「LIFULL HOME'S」に入稿しています。募集が終了した物件の情報は、大東建託パートナーズから自動的にデータ連携される仲介会社もありますが、それ以外の仲介会社では定期的に大東建託パートナーズに確認する必要があります。そのため、募集が終了していても募集情報が数日掲載されたままになっているなど、タイムリーに情報が更新されないことがありました。

今回導入する仕組みは、大東建託パートナーズからLIFULLに管理建物の募集情報を毎日送り、その中から募集が終了した物件情報を抽出します。そして「LIFULL HOME'S」上で物件掲載が継続していることを検知すると自動的に非掲載にするものです。従来の流れに加えてこの仕組みを導入することで、お部屋探しをするお客様がよりタイムリーで正確な情報を得られるほか、仲介会社が逐一募集情報を確認する必要がなくなるため、業務効率化にもつながります。

117万戸以上の住宅を管理する大東建託パートナーズと、賃貸物件掲載数450万件以上の情報を取り扱うLIFULL HOME'Sが、ともに「おとり広告」撲滅に取り組むことで、不動産業界の信頼性向上につなげていきます。

■ 株式会社LIFULL概要

社名 : 株式会社LIFULL
代表者 : 代表取締役社長 井上 高志
所在地 : 東京都千代田区麴町1-4-4
事業内容 : 不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S(ライフ ル ホームズ)」の運営等
資本金 : 9,716百万円
設立年月日 : 1997年3月12日
ウェブサイト: <https://LIFULL.com/>